

平成26年度 決算書

町の家計簿

ダイジェスト版

「北緯45度 癒しの里」

ロマン息づく大自然の町ー中頓別



目次

平成26年度決算状況	2
監査委員の決算審査意見	14
財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、 純資産変動計算書、資金収支計）	17

平成27年11月
中頓別町

平成26年度各会計の決算額は、下記のとおりです。

本年度の一般会計も含めた8会計の予算総額は、4,941,877千円で前年度と比較して、11,911千円の増額予算となりました。

歳入面では、予算総額に対し、61,070千円の減収となりましたが、4,880,807千円を確保し、一方歳出面では、予算総額に対し、151,473千円の不用額が発生し、4,790,404千円の執行となり、次年度に繰越して利用できる財源が90,403千円となりました。

本町は、町税等の自主財源が少なく、国から交付される地方交付税に頼っている財政基盤の脆弱な町であることから、今後とも財政の健全化を図りつつ、住民生活の向上や住民福祉の増進に努めてまいります。

以下個別の内容について申し上げます。



各会計ごとの決算状況

会計の名称		会計の内容	収入	支出
一	般	町の一般的な仕事をする会計で下記の会計を除いたものです。	34億8,065万円	34億1,576万円
自	動	教習生の授業料などを収入に普通自動車免許、大型特殊免許の講習を行っています。	4,257万円	4,246万円
国	民	国民健康保険税などを収入に加入者の医療費の給付などを行っています。	2億6,956万円	2億5,673万円
国	保	医療収益を基に町民への医療サービスを行っています。	5億2,729万円	5億0,339万円
	病		1,260万円	2,628万円
水	道	水道使用料を収入に浄水場などの維持管理と町民への給水サービスを行っています。	7,696万円	7,650万円
下	水	下水道使用料を収入に終末処理場の維持管理と下水道サービスを行っています。	2億2,470万円	2億2,368万円
介	護	介護保険料などを収入に要介護認定を受けた方に介護・支援サービスを行っています。	2億2,023万円	2億1,935万円
後	期	老人保健制度に替わる制度で、保険料などを収入に広域連合などの負担金の支払いを行っています。なお、医療費などの給付は全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が行っています。	2,625万円	2,625万円
合	計		48億8,081万円	47億9,040万円

財政健全化法による健全化判断比率及び資金不足比率

◆財政指標(1)

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	30.0%
実質公債費比率	8.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しませんでした。

※将来負担比率は将来の負担額より地方交付税で措置される額や基金(貯金)の現在高を合わせた額のほうが大きいいため、比率が発生しませんでした。

実質赤字比率

福祉や教育、観光や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

◆財政指標(2)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業	—	20.0%
水道事業	—	
下水道事業	—	

※いずれの会計も赤字がないため、比率は発生しませんでした。

資金不足比率

それぞれの公営企業会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

実質公債費比率

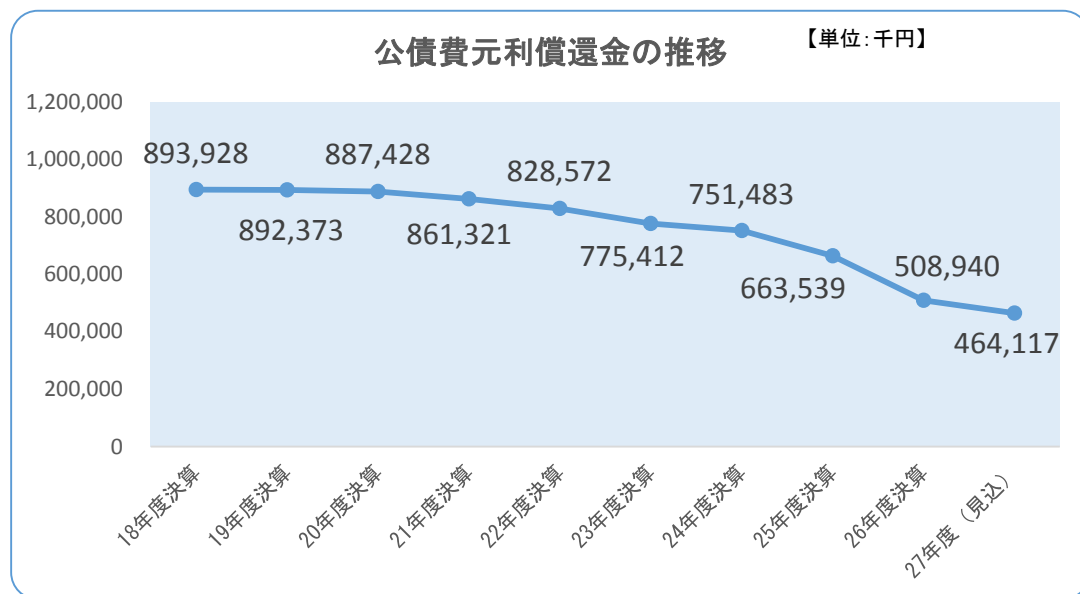
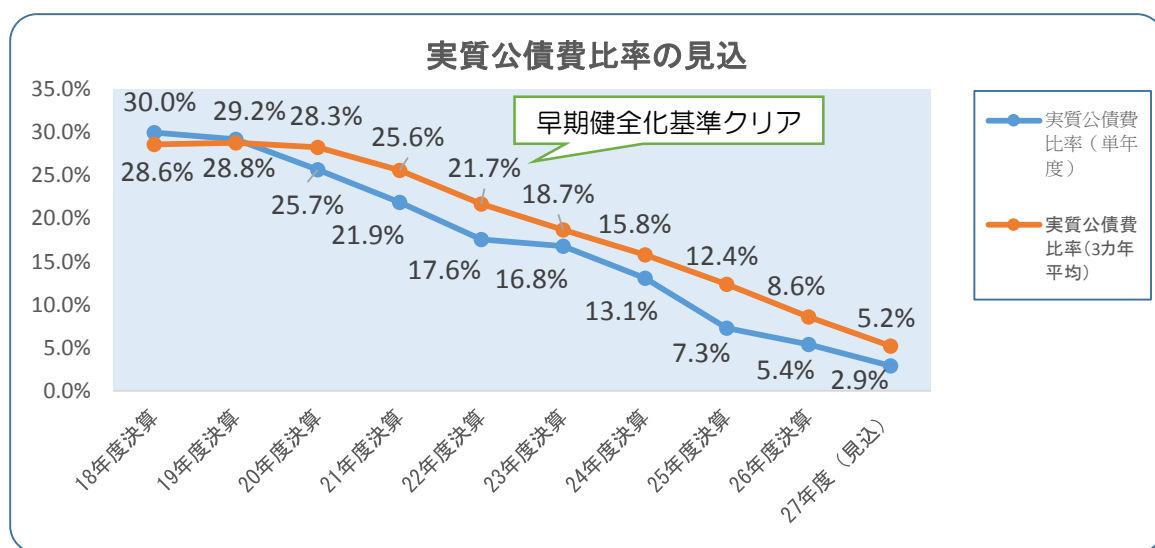
平成24年度～平成26年度の3カ年平均

8.6%

実質公債費比率とは、町の収入に対する町全体の借金返済額の比率を示す財政指標です。

今年度は、昨年度の実質公債費比率15.8%より3.4ポイント減少した結果、国の制約を受けない協議団体に移行となりました。財政健全化法による健全化判断比率の実質公債費比率は3カ年平均で算定されます。

今後も引き続き地方債借入額を最小限に抑え、公債費負担の軽減を図りながら、財政運営の健全化に努めていきます。



※ 公債費元利償還金は、決算統計のルールに従って算出した推移ですので、決算の数値とは異なります。

なかとん 中屯真

さんちの

収入

1ヵ月の収入合計 34万円 (36万円) の内訳

給料 (81.0%)

27万5千円 (30万円)

基本給 1万5千円
町税 1億5千万円

能力(歩合)給 22万4千円
地方交付税 地方譲与税などの国 からの交付金 23億円



手当 3万6千円
国庫支出金 道支出金 3億7千万円

一般会計を
1世帯あたりに例えた場合

預金引き出し (0.6%)

2千円 (2千円)

繰入金 2千万円

パート収入 (5.5%)

1万9千円 (1万9千円)

使用料・手数料など 1億9千万円

ローン借入れ (8.9%)

3万円 (2万8千円)

町債 3億1千万円

前月からの繰越金 (4.0%)

1万4千円 (1万1千円)

繰越金 1億4千万円



今年は、給料が大きく減ってしまったな～
臨時的なパート収入が増えたけど、これから
も、給料が減るかもしれないから、できるだ
け借金をしないようにがんばらないと・・・

()内は平成26年度の金額

家計簿

【1ヵ月の計算方法】(例)
平成26年度支出→34億2千万円
×1/853(世帯数)÷12ヵ月=33万4千円

支出

1ヵ月の支出合計 33万4千円(34万7千円)の使い途



家賃・光熱水費(16.4%)
5万5千円(5万1千円)

総務費
5億6千万円



医療・衛生費(10.8%)

3万6千円(3万7千円)

衛生費
3億7千万円

衣料・食料費(20.1%)

6万7千円(5万7千円)

民生費・農林水産業費・商工費
6億9千万円

子供の学費(5.0%)

1万7千円(1万6千円)

教育費
1億7千万円

家や道路の整備代など(4.7%)

1万5千円(1万8千円)

土木費
1億6千万円



その他(25.7%)

8万6千円(9万7千円)

議会費・労働費・消防費など
8億8千万円

ローン返済(17.5%)

5万8千円(7万1千円)

公債費
5億9千万円

今年も昨年に引き続き将来に備えるための貯金をしたから、出費が多くなったわ。光熱水費もだんだん増えてきているし、夫の給料も下がってるから将来が不安だわ。それにまだまだローンの返済が重くのしかかっているし、節約してがんばらなきゃね。



特別会計への繰出金



総額 5億3,933万円

(対前年比 1億7,145万円増えました)

特別会計は独立採算性が基本です。お金が足りない場合は、一般会計の仕事を我慢してもらって繰り出すこととなります。つまり、町民の皆様へのサービスを一部我慢してもらうこととなります。この繰り出しが多いことは健全な財政とはいえません。ただし、特別会計繰出金の中には国の制度により繰り出すもの（ルール分）があります。このルール分は削減できませんが、それ以外の不採算運営費（赤字）に伴う繰出金の削減が、財政の健全化のための重要な課題といえます。

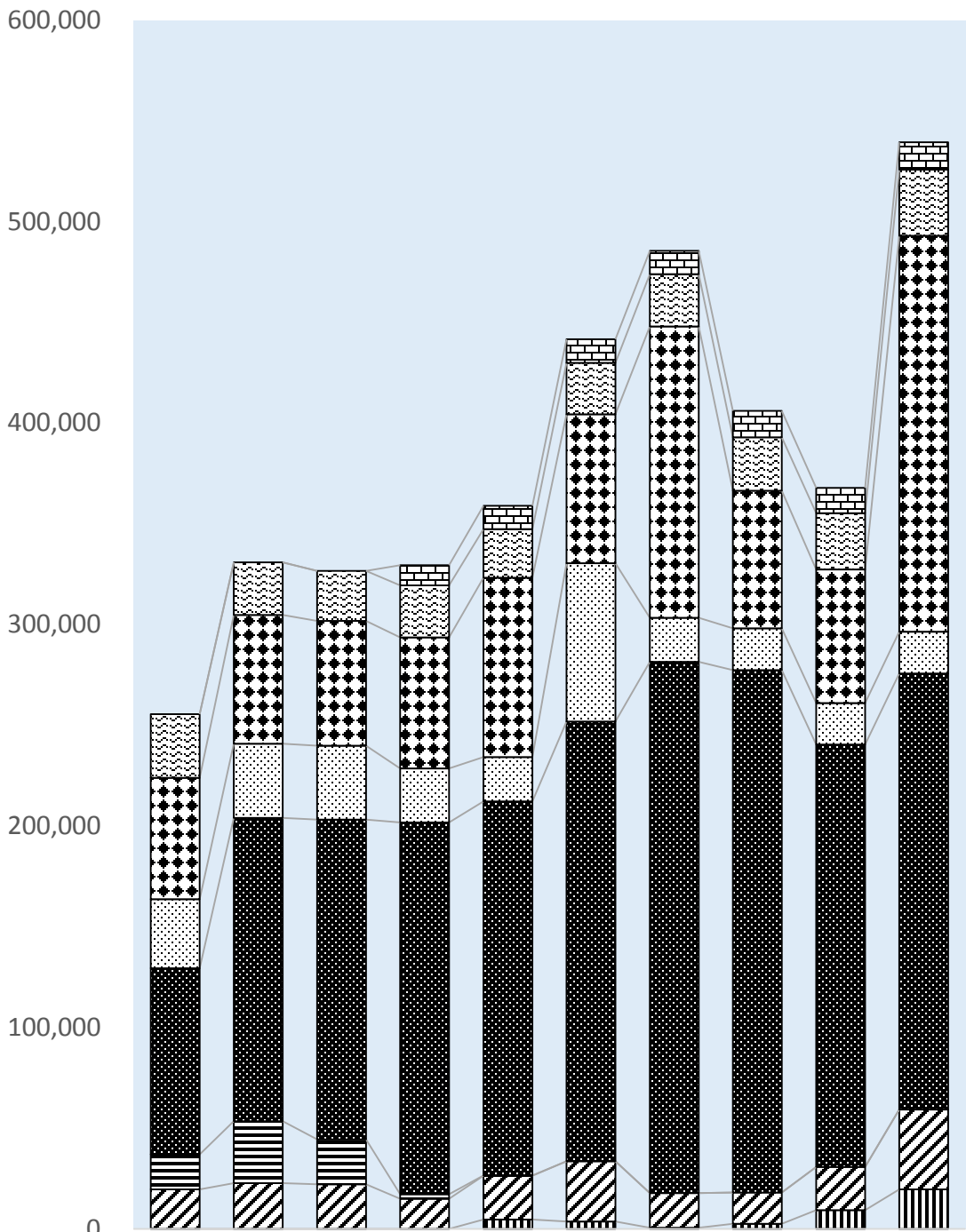
なお、平成26年度は下水道事業に係る借金（地方債）を繰上償還したため、その財源として1億2,847万円を繰り出しているため、繰出金が増えております。

	平成26年度	平成25年度	増減
☆ルール分のみ繰り出しの会計			
●水道へ	2,069万円	2,068万円	1万円
●介護保険へ	3,285万円	2,794万円	491万円
●後期高齢者医療へ	1,349万円	1,260万円	89万円
☆不採算運営費補てんのある会計			
●国民健康保険へ	3,961万円	2,134万円	1,827万円
うち不採算分	2,719万円	900万円	1,819万円
●自動車学校へ	1,967万円	939万円	1,028万円
うち不採算分	1,967万円	939万円	1,028万円
●国保病院へ	2億1,640万円	2億0,963万円	677万円
うち不採算分	1億5,346万円	1億4,901万円	445万円
●下水道へ	1億9,663万円	6,626万円	13,037万円
うち不採算分	4,661万円	4,587万円	74万円

(単位:千円)

事業名	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
自動車学校	—	—	—	—	4,700	3,760	600	2,492	9,389	19,669
知的障害者福祉	—	574	—	—	—	—	—	—	—	—
国民健康保険	19,648	22,679	53,607	14,970	21,641	29,904	17,231	15,600	21,338	39,605
老人保健	17,400	30,808	22,230	2,323	140	—	—	—	—	—
国保病院	92,316	150,516	158,714	184,511	185,749	218,106	263,624	259,297	209,631	216,401
水道	34,268	36,861	36,600	26,814	21,936	78,628	21,937	20,684	20,684	20,685
下水道	60,300	63,800	62,050	65,000	89,000	74,000	144,500	68,300	66,260	196,630
介護保険	31,617	26,099	24,763	25,732	24,147	25,433	25,959	26,506	27,941	32,850
後期高齢者医療				10,072	11,543	11,811	11,603	13,107	12,600	13,491
合計	255,549	331,337	357,964	329,422	358,856	441,642	485,454	405,986	367,843	539,331

(単位:千円)



平成17年 平成18年 平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| ■ 自動車学校 | ■ 国民健康保険 | ■ 老人保健 |
| ■ 国保病院 | ■ 水道 | ■ 下水道 |
| ■ 介護保険 | ■ 後期高齢者医療 | |

平成26年度に行った主な事業

■道路

町道の整備(以下の2路線の整備を行いました。)	8,927万円
・10丁目線交付金事業	4,252万円
改良・舗装工事 170m 照明灯 2基 (除雪センター横から2条通り線(旧森永入口)までの区間)	
・町道2条通り線交付金事業	4,675万円
改良・舗装工事 130m 照明灯 3基 (9丁目線(旧森永管理センター)から10丁目線までの区間)	

■農業

中頓別町営牧場草地更新事業	831万円
町営牧場は、造成から十数年が経過しており、草地の老朽化が進み、入牧牛の成育や受胎成績が年々悪化している状況にあることから、計画的な草地の更新を行い、受精牧場としての機能の強化を進めました。	
青年就農給付事業	487万円
新規就農者(親元就農者含む)は、就農後の経営の安定化に期間を要することから、経営が軌道に乗るまでの間、一定条件を満たす新規就農者に対し国が支援を行う制度で、平成24年度から実施されています。	

■林業

森林管理道弥生線開設事業	2,818万円
林道開設 960m (一乙内川横断付近から約180mのところより鍾乳洞方向までの区間)	
森林整備加速化林業再生事業	3,215万円
作業道と間伐と一体的に整備することにより森林整備の効率化が促進され林業経営の安定化を図りました。	



■生活

消防救急デジタル無線整備事業	3,543万円
電波法改正に伴い、南宗谷消防組合館内における災害に迅速に対応するための情報網を構築するための整備を行いました。	
市街地照明灯LED化改修事業	1,267万円
全国的に省エネへの取り組みが進められる中、町としても具体的な方策の一つとして町内の道路照明灯及び防犯灯をLED照明灯へ更新しました。	

有害鳥獣対策事業

4,428万円

疾病等野生鳥獣の保護収容等に係る取扱指針に基づき、野外で負傷・疾病した野生鳥獣の保護・収容及びへい死体の処理を行うため、エゾシカの残滓処理施設整備を行いました。

戸籍電算化共同運用事業

1,930万円

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行や住民に関する事務処理に要する経費を計上しました。

本年度は、宗谷3町(豊富町、浜頓別町、中頓別町)で行う戸籍電算化共同利用に係る経費を計上しました。

後期高齢者見舞金助成事業

601万円

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるよう、後期高齢者の福祉の増進を図りました。

臨時福祉給付事業

695万円

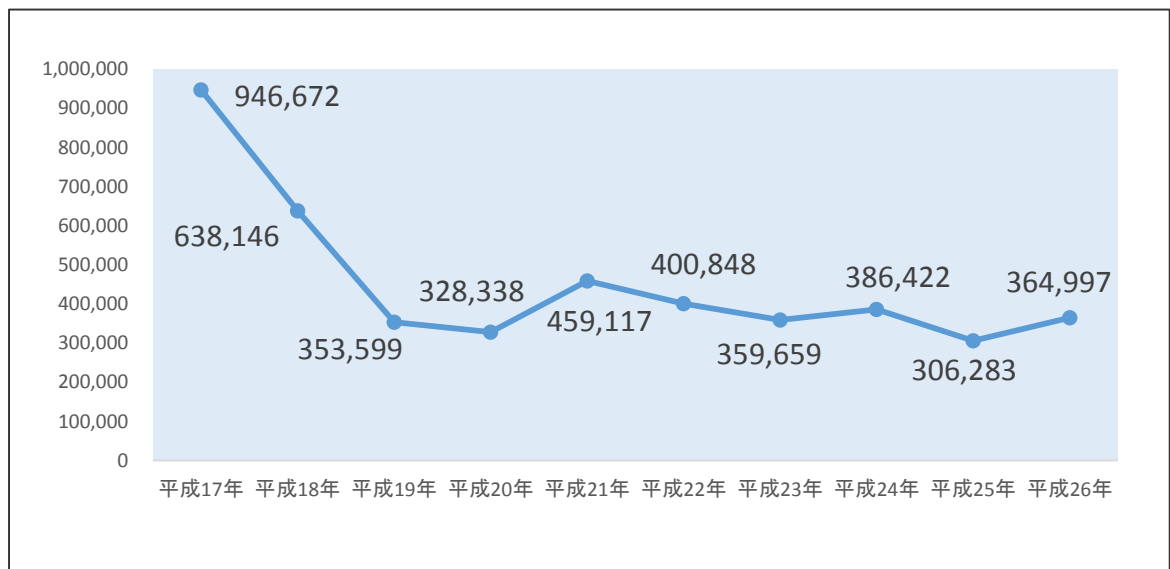
平成26年4月からの消費税8%の引き上げに伴い、低所得者の負担の影響を鑑み、社会保障の充実のため、臨時的に給付金を支給するための諸経費を計上しました。

子育て世代臨時特例給付事業

197万円

平成26年4月からの消費税8%の引き上げに伴い、子育て世帯への影響の緩和と消費の下支えを図る観点から、臨時的に給付金を支給するための諸経費を計上しました。

一般会計 普通建設事業の推移



紙面等の都合により、臨時的かつ金額の大きい事業のみ掲載しました。なお、詳細の資料を希望する方は中頓別町役場総務課政策経営室までご連絡ください。また、中頓別町ホームページで詳細資料を掲載しておりますので御利用ください。

中頓別町HPアドレス

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>



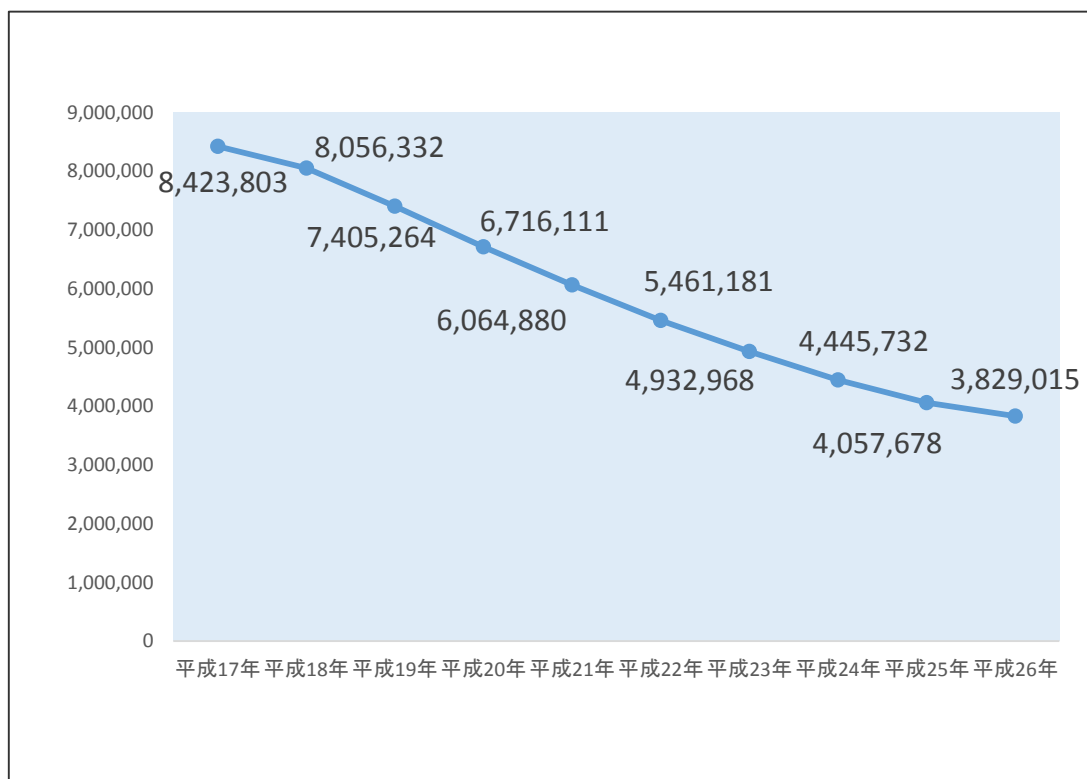
借金（一般会計）

38億2,901万円

(対前年比 2億2,867万円減りました)

平成25年度末	平成26年度	平成26年度	平成26年度末
地方債残高+	借入高-	返済高=	地方債残高
40億5,768万円	3億0,640万円	5億3,507万円	38億2,901万円

中頓別町のこれまでの借入金残高の状況(一般会計)



公共事業を抑制したことにより借入金残高が、年々減少傾向にあり効果が現れてきています。

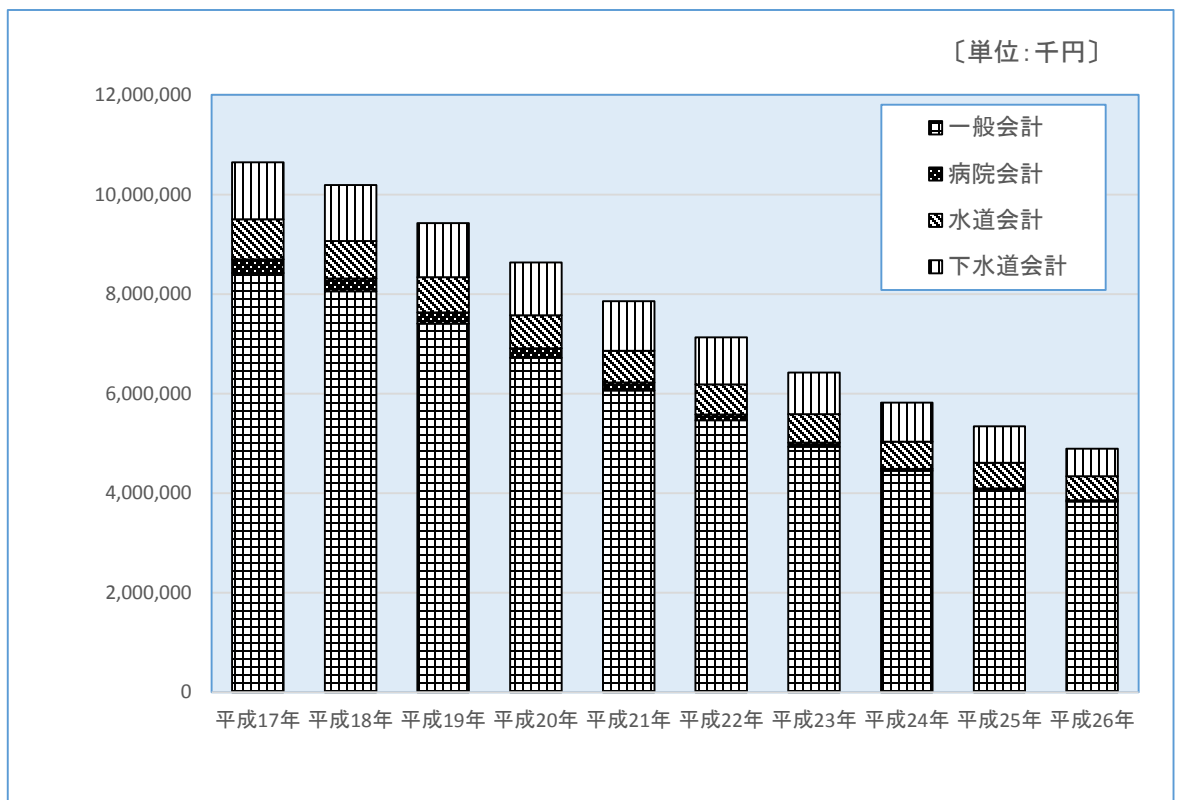
これらの借入金のうちの多くは、返済額の一定割合を地方交付税で国から交付されるしくみになっています。たとえば、もっとも借入額が大きい「過疎債」では、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされます。町は公共事業を実施する場合、こうした有利な「借金」を活用するように工夫してきました。

借金 (全会計)

48億9,333万円
(対前年比 4億4,824万円減りました)

	平成25年度末 地方債残高		平成25年度 借入高		平成25年度 返済高		平成26年度末 地方債残高
一般会計	40億5,768万円		3億0,640万円		5億3,507万円		38億2,901万円
水道会計	5億1,470万円				3,070万円		4億8,400万円
病院会計	3,590万円	+		-	835万円	=	2,755万円
下水道会計	7億3,329万円				1億8,052万円		5億5,277万円
計	53億4,157万円		3億0,640万円		7億5,464万円		48億9,333万円

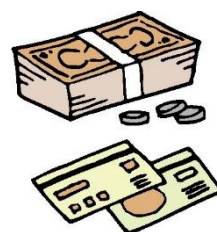
中頓別町のこれまでの借入金残高の状況



独立採算を基本としている公営企業（水道、下水道、病院）においても事業を実施するため、起債（借金）の借入を行っており、その存在する借金は中頓別町が支払うべき借金総額となります。（南宗谷消防組合や南宗谷衛生施設組合などの一部事務組合に対しての負担金にかかる分は含まれておりません。）

貯金

36億9,018万円
(対前年比 3億1,230万円増えました)



	平成26年度	平成25年度	増減
財政調整基金	8億7,763万円	6億2,750万円	2億5,013万円
減債基金	6億5,383万円	6億4,064万円	1,319万円
長寿園施設改修拡張事業基金	4億5,529万円	4億7,069万円	▲ 1,540万円
天北線代替輸送確保基金	3億0,319万円	3億0,306万円	13万円
畜産振興基金	2,890万円	2,806万円	84万円
地域振興基金	3,531万円	3,530万円	1万円
まちづくり基金	1億2,664万円	1億2,661万円	3万円
土地開発基金	2,200万円	2,199万円	1万円
地域福祉基金	1億1,440万円	1億1,437万円	3万円
中山間水と土保全基金	623万円	622万円	1万円
農林業活性化基金	5,594万円	5,592万円	2万円
豊かな環境づくり基金	473万円	473万円	
ふるさと応援寄附基金	633万円	539万円	94万円
公共施設整備等基金	6億0,034万円	6億0,019万円	15万円
地域活性化基金	3億6,735万円	2億9,543万円	7,192万円
未来を担うこどもの健全育成と教育の基金	1,568万円	1,568万円	
介護保険給付費準備基金	1,055万円	1,887万円	▲ 832万円
水道事業特別会計基金	584万円	723万円	▲ 139万円

公共施設整備等基金は、今後見込まれる公共施設の建て替えや改修・解体に備えるために積み立てた基金です。

地域活性化基金は、地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るために積み立てた基金です。

＜コラム＞公表されている決算等の数値に相違が生じる場合があります。

この、「町の家計簿」に用いている数値、金額については、各会計での決算書の数値をもとにつくっています。

しかし、他の財政数値として公表されるもののほとんどが決算統計（地方財政状況調査）で集計された数値を使うのが一般的とされています。また、財政状況を示す数値（経常収支比率、実質公債費比率など）やこの後に掲載している、貸借対照表（バランスシート）、行政コスト計算書についても決算統計で集計された数値を使っています。

各会計決算書と決算統計で集計をする場合に根拠（集計上のルール）が異なるため、数値が異なる場合が生じますので、あらかじめご了承ください。

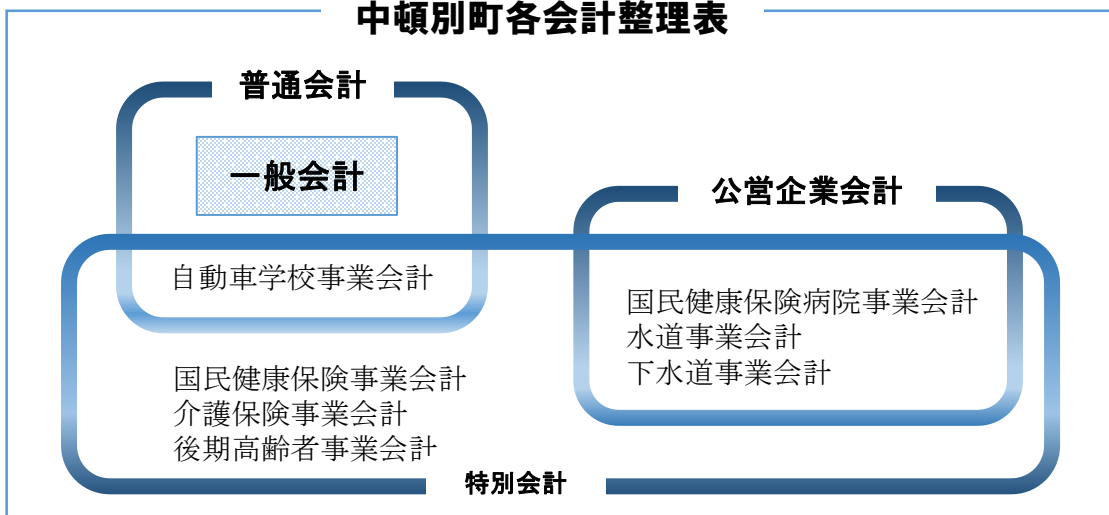
異なる内容として、一例をあげますと、現在、一般会計で、償還（借金の返済）してる起債の一部において、水道、下水道、病院に係るものが含まれています。決算統計のルールとして、そうした費用については、それぞれの公営企業決算統計にて計上することとされているため、普通会計での決算統計では除外されているからです。また、人件費についても、予算決算では総務費で議会、教育、水道等の特別会計を除く全ての人件費を支出しています。しかし、決算統計では、これらの人件費をそれぞれの目的（民生費、土木費など）に振り分けて計上しています。こうしたルール上の金額の組み換え、除外が数点あるため、決算上の数値と決算統計上の数値と異なるという現象が生じてきます。

さらに、各種数値について、一般会計、普通会計、〇〇特別会計、公営企業会計等さまざまな財務上の括りがあり、どこの数値を公表しているのか、その表題に必ず記述するようにしていますので、ご確認ください。

※各会計について、わかりやすく記述すると下記のとおりとなります。

今後、数値を公表する場合には、決算統計の数値を載せています等の注釈を記述し、よりわかりやすい数値、資料の提供を行っていきたいと考えています。

中頓別町各会計整理表



※決算統計上の会計区分



発行：中頓別町

編集：総務課政策経営室

〒098-5595

北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6

TEL (01634) 6-1111 FAX (01634) 6-1155

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>